

適用規格						
定 格	使用温度範囲		-35℃ ～ 85℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃ ～ 60℃ (注3)	
	使用湿度範囲		20% ～ 80% (注2)	保存湿度範囲	40% ～ 70% (注2) (注3)	
	電 圧		AC/DC 50V	適合コネクタ	DF80※-50P-0.5SD (##)	
	電 流		0.5 A/PIN (注4)			
性 能						
	項 目	試 験 方 法		規 格	QT AT	
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。	○ ○	
	表示	目視にて確認する。			○ ○	
電気的性能	接触抵抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) で測定する。		信号：80 mΩ以下 GND：80 mΩ以下	○ -	
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。		50MΩ以上	○ -	
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を1分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。	○ -	
機械的性能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。		①接触抵抗（初期からの変化量） 信号：50 mΩ以下 GND：50 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○ -	
	耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向各 10サイクル試験する。		①1 μs 以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○ -	
	耐衝撃性	加速度 490m/s ² 、持続時間 11ms、 正弦半波 3軸両方向 各3回試験する。			○ -	
環境的性能	温度サイクル	温度 -55℃ → 85℃ 時間 30 分 → 30 分 を 5 サイクル試験する。 (槽の移し換え時間は2～3分)		①接触抵抗（初期からの変化量） 信号：50 mΩ以下 GND：50 mΩ以下 ②絶縁抵抗：25 MΩ以上	○ -	
	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96時間放置する。		③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○ -	
	二酸化硫黄	濃度 25ppm、温度 25℃、75%RH中に 96時間放置する。		機能を損なう異常のないこと。	○ -	
	はんだ耐熱性	①リフローの場合 250℃MAX、240℃以上-20秒以内 220℃以上 60秒以内 ②手半田の場合 350℃、3秒以内		外観の変形及び端子などに著しいガタのないこと。	○ -	
	はんだ付け性	はんだ温度 245℃、浸せき時間 5秒間 のはんだ付けを行う。 (半田：Sn-3.0Ag-0.5Cu)		はんだ浸せき面の 95% 以上が新しいはんだで濡れていること。	○ -	
△の数		訂正記事		設計	検図	年月日
△0						
備考				承認	MH. YAMANE	13.08.31
(注1) 通電時の温度上昇を含みます。				検 図	MH. TSUCHIDA	13.08.30
(注2) 結露なきこと。						
(注3) ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。基板搭載後の無通電状態及び、輸送時などの一時保管状態では、使用温湿度範囲が適用されます。						
(注4) コネクタ部の温度上昇のみとなり、ケーブルの温度上昇は含みません。 使用するケーブルにより定格電流値が異なります。				担 当	IO. DENPOUYA	13.08.30
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402、IEC 60512を適用している。						
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目				図番		SLC4-338299-03
HRS	製品規格表		製品名		DF80-50S-0.5V (52)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		CL662-8007-9-52	
				△		1/1